



たてやま

議会だより



雪の大谷・開通の日
立山町提供



雪の大谷・立山体感ツアー 北日本新聞社提供

町のボランティアグループ紹介

「立山りんどう会」

平成 16 年に設立。「観光ボランティアガイド」として、魅力あふれる立山町の自然・歴史・文化等の案内や説明をする活動を通して、町の紹介につとめています。

また、室堂駅の総合案内センターに 4～10 月の期間常駐して、窓口案内や外来種物除去などのイベントに協力しています。

平成 25 年 6 月定例会

- 〈補正予算〉 各小学校のトイレ洋式化へ ————— 2P
- 〈条例改正〉 国保税率引き上げ ————— 3P
- 〈委員会の審議〉 町営住宅跡地を定住目的に売却 — 4P
- 〈一般質問〉 7名の議員が活発な議論 ————— 5P~11P
- 〈補欠選挙〉 委員会構成を変更 ————— 12P

No. 48
2013.8.1

発行／立山町議会
責任者／議長 桑原 米蔵
編集／広報特別委員会



各小学校のトイレ洋式化と、 グラウンド改修が実現

平成25年度

一般会計補正予算 6億9,373万円を追加
総額 103億8,673万円に

経済対策・小学校施設整備事業

2億1,500万円

高野・利田・日中上野・新瀬戸・釜ヶ淵小学校のトイレ洋式化と高野・立山小学校のグラウンドを改修する。

住宅施設整備事業

6,970万円

釜ヶ淵町営住宅の外壁や給湯施設等の改修と旧新瀬戸保育所を改修する。

介護保険事業

1,980万円

中新川広域行政事務組合が公募している、グループホーム建設に伴う採用事業所への補助金である。

歴史と文化が薫るまちづくり事業

369万円

新瀬戸地区に伝わる池田浄瑠璃の映像記録の作成と、五百石駅前に新瀬戸地区の案内看板を設置する。

平成25年6月定例会は、6月3日から14日までの12日間にわたり開かれ、平成25年度一般会計補正予算など予算議案9件、条例制定・改正11件など合計24件の議案について審議を行い、すべて可決されました。また、請願陳情の2件は不採択となりました。

一般質問には、7名の議員が町政全般にわたり活発な議論を展開しました。

質問と答弁の要約した内容は5ページから11ページです。なお、議事録については、9月中旬に図書館および町ホームページで閲覧できますのでご覧ください。

国民健康保険税条例の改正を可決

1人当たり約 9,000 円の値上げ

国民健康保険税率の改正 (賛成10・反対1)

国保の財源は破綻状況にあり、制度を維持し安心して医療を受けてもらうための税率改正である。(改正内容は下表)

職員給与の削減 (賛成10・反対1)

月額で主事は2.77%、係長級は5.77%、課長級は7.77%の減額で、7月から来年3月まで実施され、総額で4,200万円の減額になる。

夜間照明施設条例の改正 (賛成全員)

立山中央小学校のグラウンドが完成したことで、夜間開放するための条例の改正である。

6月定例会で、国民健康保険税率の改正や町職員の給与削減条例の制定など11件が提出され、審査の結果、すべて原案のとおり可決されました。主な改正内容は次のとおりです。

国民健康保険税率について

	1人当り	1世帯当り	基礎課税分 (医療分)				後期高齢者支援金分				介護納付金分			
	1人当り 保険料 (円)	1世帯当り 保険料 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	賦課 限度額 (万円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	賦課 限度額 (万円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	賦課 限度額 (万円)
現行税率	90,736	155,113	7.10	23,000	24,000	51	2.30	7,200	5,400	14	1.50	7,200	5,400	12
改定後 1人当り 税額 10.2%増	99,984	170,923	7.60	27,000	25,000	51	2.30	8,000	7,800	14	2.00	9,600	7,200	12

請願・陳情結果

不採択

全員反対

農業を含むがれきの受入表明撤回を
求める陳情書

請願・陳情者

調査報道ジャーナリスト 山本節子
他3名

〈不採択理由〉試験焼却結果を踏
まえて、本格受入の日程が公
表された中で、撤回すること
はできない。

不採択

全員反対

違法な臓器生体移植を禁じることを
求める陳情書

請願・陳情者

兵庫県伊丹市 井田敏美

〈不採択理由〉違法な臓器生体移
植の事実関係が確認できない
ことや、国外の法律に関する
ことでもあるため。

町議会では、2部門の常任委員会に分かれて、提出議案を審議しています。

総務教育常任委員会

定住促進目的で町営住宅の跡地売却

企画政策課

Q 宝くじの助成事業

で、自治公民館の建設補助の申請をするには、条件があるのか。

A 事業費の5分の3の補助率で、1、500万円が上限である。また、建設予定地に抵当権が設定されていないことなどが条件になっており、県内では年間2〜3件が採択されている。

教育委員会

Q 小学校のトイレ洋式化工事とグラウンドの改修工事は、いつ頃から実施するのか。

A トイレ工事は、高野、利田、日中上野、新瀬戸、釜ヶ淵小学校の5校で、夏休みから2ヶ月間くらいの期間を予定している。

グラウンドの改修は、高野、立山小学校で、地区の体育大会が

終わる、10月初旬から1ヶ月半くらいを予定している。

消防署

Q 宝くじの助成事業で購入するカスタムベストは、消防団員全員に行き渡るのか。

A ポンプ車配備の分団に各10着、積載車配備の分団に各4着と、交通整理用に20着の、合計140着を購入する計画である。

総務課

Q 釜ヶ淵住宅の取り壊した跡地の売却計画と、購入者の用途はあるのか。

A 定住促進につなげる目的で、680坪の敷地を1区画170坪程度として、4区画を分譲する計画である。今のところ用途はないが、今後、県外でPRを行って定住に結び付けたい。

産業厚生常任委員会

釜ヶ淵住宅の1戸を

ウィークリーマンションに

健康福祉課

Q 中新川広域行政事務組合が公募しているグループホームの、建設場所と規模はどれくらいか。

A 場所は立山町内で、2ユニット、18人が入所できる規模のものである。

農林課

Q 起業拡大支援などの補助金を交付されている団体は、独立するようにはすべきではないか。

A まずは売り上げ増・販路拡大により、ひとり立ちできるように後押ししたい。

商工観光課

Q 企業支援型地域雇用創出事業委託料で、何人の雇用が生まれるか。

A 12人を、6〜7ヶ月間雇用する予定にしている。

建設課

Q 除雪機械を操作できる大型免許を取得している職員は何名か。また、必要とされる職員数は。

A 最低2名が必要で、増員していくことも検討する。

Q 釜ヶ淵住宅の1戸分を一時使用型とするが、どんなイメージか。また、その場合、敷金はどうなるか。
A ウィークリーマン



1戸分を改修する釜ヶ淵住宅

ションをイメージしており、1週間から6カ月の使用期間である。敷金は徴収しない予定である。

ウィークリーマンションとは
原則として、短期契約で借りられるマンション。



坂井立朗議員 一般質問



役場内の窓口

職員給与

職員給与の削減と町長自身の給与対応は

削減の強制は大変遺憾 自身の給与は職員以上の対応

議員 国からの職員給与の臨時的削減措置を

どのように感じているのか。また、町長自身の給与はどうするつもりか。

町長 地方公務員の給与は、議会や住民の理解を得て地方が自主的に決定するものである。

このような削減措置の強制や交付税削減は、断じて行うべきではない。全国から反対の声があがる中で強行されたことは、大変遺憾である。

削減の対象は、4月採用の職員から、住宅ローンや子どもの教育費に負担がかかる世代を含めた全職員である。

事態を深刻に受け止めて、自身の給与については職員以上の対応を取りたい。

(町長10%、副町長・教育長8%の削減案を議会最終日に提案し可決される)。

農家民泊

農家民泊の支援体制を強化し、ガイドラインの策定を

関係団体・機関の協力が必要 ガイドラインは安全管理のために

議員 農家民泊について、行政とJAや営農組合等がスクラムを組んで、支援体制を強化すべきではないか。

また、教育旅行団体に限定した、民泊交流体験のガイドラインを策定すべきと思うが。

農林課長 農家民泊は、地域活性化等で大きな効果をあげている地域もある。

町においても、農業の魅力、食の美味しさ、美しい自然環境を発信していくことが、活性化につながると考えている。
受け入れ農家や関係



行政視察で、農家民泊を体験

団体・機関の協力が必要であり、町の支援体制を強化する。

ガイドラインの策定は、農業体験を目的とした研修生の受け入れと安全管理のためにも、必要だと考えている。

その他の質問

- 職員給与の臨時的削減措置について
- 職員の士気の低下が懸念されるが
- 本当に来年3月末までなのか
- 教育再生実行会議の提言に関して
- 道徳の教科化をどのように考えるのか
- 実施に当たっての問題点は何か
- 学校給食センターの運営について
- アレルギー食の配食の実態と対応は
- 重篤な子の実態は
- 弁当持参は検討できないか



高嶋清光議員 一般質問



予算財源

投資的経費の必要額は
国依存で健全運営はできるのか

4〜6億円の財源が必要
国の基準を堅持し実行

議員 当初予算で、投資的経費、普通建設事業費を一定程度確保するならばどれくらい必要か。

また、平成25年度予算は、13ヶ月予算といわれているが、国に依存した中で健全に運営できるのか。

立山北部小学校建設に震災の復興予算を使ったが、予算の組み



予算のしくみガイドブック

替えが必要ではないか。

町長 投資的経費は、

町民の生活を支えるうえで不可欠であり、4〜6億円程度の財源確保が必要である。

財政運営上、国の動向を把握し、町に有利な予算で公共事業を実施している。国の基準を堅持しており、健全な運営を図っている。

立山北部小学校の改築は、緊急性、即効性のある防災対策を講じるための目的であり、全国で取り組まれているため、予算の組み替えは必要ない。

里山対策

安心した生活を与えるのが行政ではないか

目指す目的は一つ
地域の活性化

議員 立山町はどこに住んでも同じまですは

言わなくても、安心して住めることが大切である。安心した生活を与えるのが行政ではないか。

何年後か、お宮さんしか残らない集落が多くできる。

①この状態をどう見ているのか。

②その地区が今何を求めているのか理解しているか。

③困っている地域へ足を運ぶ気はあるか。

④地区と行政が一致していないと思うが。

町長 少子高齢化が進んでおり、中山間地域にその傾向が強く現れている。

住民の考え方は様々であるが、若年人口の増加だと考えている。

町政懇談会などの機会をとらえて足を運んできた。今後も足を運び住民の声を聞きたい。

人の考え方、解決の道筋もいろいろあり、不満を持つ方もいると思うが、目指す目的は一つ。地域の活性化であり、今後も緊密に地域の情報収集と意見交換を進めていく。



町政懇談会

その他の質問

・町道前沢中央線の歩道の早期完成を

・障害者雇用の現状と対応は

・地域おこし協力隊・集落支援員について

・(株)たてやまの専務は資格があるのか

・支援員は集落のことをよく知った人材を選ばべきでは

・元気交流ステーションの苦情と対応

・役場と離れていて不便ではないか

・研修室が多くなったが二重行政では

・一階ホールの使用率が悪い。特産品の販売は

・環境問題について

・ゴミ屋敷問題の指導と現状は

・町内の煙突の煙の調査を

・陶農館の登り窯煙突の改善を

・吉峰温泉のペレットボイラー黒煙対策は

・立山製紙の煙突の煙は大丈夫か

・震災がれきの運搬経路は

・立山山岳地帯にテレビカメラの設置を
・人口減少問題の対策と各公民館別の人口推移は



米田俊信議員 一般質問

観光

アルペンルート 100万人回復に向けて

信頼関係の構築と強化に 努める

議員 アルペンルート100万人回復に向けて、台湾等の旅行関係者等との関係強化をどのように進めるのか。

町長 立山黒部アルペンルートを訪れる観光客の約1割が外国人観光客である。

近年は、個人旅行者も増加しており、海外の現地旅行社と連携を強化し、立山へのアクセスをいかに効率よくPRできるかが、確実な誘客につながる。誘客活動は、平成23年度は台湾、24年度は香港の現地旅行社を訪問。今年度は、チャイナエアラインの名古屋支店でアルペンヒルクライムのポスターを現地で掲示する約束など、信頼関係の構築と強化に努めている。



香港の旅行社を訪問

ごみ減量

剪定枝のリサイクル化を

回収できないか検討する

議員 平成23年度の剪定枝の町直管実験の実績と課題の分析結果はどうなっているか。

また、燃えるゴミ増加の一因となっている剪定枝を、町の収集システムの一環として、全地区で実施できないか。



住民課長 五百石1区と大石原地区でモデルとして実施した結果、春先と秋に出される傾向がある。収集システムの一環とするには、排出の季

節的なばらつきや新たな人員と車両の手配が必要であり、現行の体制では難しい状況である。リサイクル日に回収できないか、今後検討していく。

農道整備

農道の拡幅と、町道認定を

利用状況を見極めながら検討

議員 利田公民館横を流れる八幡川東側農道について、拡幅改良と町道認定を。

建設課長 地区を取り巻く交通環境には大きな変化が想定され、農道の拡幅や町道認定に

その他の質問

- ・観光振興について 外国観光客に喜ばれるグッズの開発と「らしいしい」に触れ合える企画を
- ・「多手(たて)山」企画の輪を広げ継続を
- ・アルペンヒルクライムの安全対策は
- ・町内の大規模開発は的確な指導を
- ・町職員採用について 来年度採用の申し込み状況は
- ・計画的な採用を
- ・採用基準は
- ・ゴミ出しマナーの向上を
- ・パークゴルフ場増設の完成までの期間と今後の計画は

については、今後の開発行為などによる土地利用状況を見極めながら検討する。



亀山 彰議員 一般質問



農業振興

立山地区の農業振興の方針は

農家の所得向上を図る

議員 立山地区は中山間地区の指定にならないのか。また、農業振興の今後の方針はどうか。

農家の所得向上を図っていく。

町長 立山地区内において中山間地域等直接支払制度などの事業導入の機運が高まれば、町は県と協議を行って指定に努めたいと思う。

地域の農業者は担手の確保や鳥獣害対策に大変ご苦労されている。町として、ぎんなん・ゆずの果樹の作付けを推奨し6次産業化へつなげることを。

平成24年度から始まった「食と地域の交流促進対策交付金事業」で、芦峠寺集落を中心とした農業体験と都市農村交流事業を推進することを通して、



通学路

宮路交差点に歩道を

歩道整備を検討

議員 立山小学校の通学路である宮路交差点は、空き地となった部分だけでも歩道にすることができるとか。また、道幅の拡張はできないのかどうか。

建設課長 住宅を解体された土地を提供していただいて、歩道を整備することも含めて検討を進める。



立山地区の農地

危険家屋

解体費用に補助を

空き家対策条例等の制定を検討

議員 悪臭発生や危険を伴う家屋の解体費用に対し補助を検討してどうか。権利面等複雑な物件もあり、町としてスムーズにいくように仲介してはどうか。

住民課長 現在、空き家調査を進めているところである。今後、空き家対策条例等を制定することになれば、条例の中で解体費用の補助や権利面での仲介等についても検討していきたい。



宮路交差点現況

その他の質問

- ・みらいぶ駐車場の整備を
- ・山小屋愛山荘について
- ・解体の方針は
- ・建物建設の権利を残せないか



町田信子議員 一般質問

観光

「らいじい」参加で 来場者の反応は

幅広い世代に人気。有効に 活用できた

議員 東京有楽町での「立山観光・物産展」の反響と、「らいじい」参加による来場者の反応はどうだったのか。

町長 立山黒部アルペンルート全線開通の直前でもあったため観光相談コーナーの注目度も高く、また、雪の大量の積雪量が昨年よりも多いという情報なども、展示パネルと併せたことから、大きなインパクトと共に紹介することができた。物品



「らいじい」は、有楽町でも人気者

販売は、完売する商品も多数あった。立山観光宣伝隊長である「らいじい」が参加したが、キャラクターがおじいさんであることから、幅広い世代に人気を博し、有効に活用することができたと思ってる。

がん教育

子どもたちのがん教育の推進を

規則正しい生活指導と がん教育の向上を図る

議員 学校において、がん教育の推進をすべきと思うが、どうか。

教育長 小中学校では保健体育の授業で、が

銭湯

銭湯継続に町の考えは

経営に意欲のある人を探す お手伝いを

議員 町唯一の銭湯の営業継続に対して町はどのように考えているのか。

副町長 本年4月中旬より臨時休業されている。現在、町から八幡湯の経営者に営業再開の意思があるかを確認しているところだが、

まだ明確な回答をいただいていない。

自らは経営を行わないが、第三者に任せてもよいということであれば、町不動産協会を通じて公衆浴場の経営に意欲のある方を探すお手伝いをしていく。



知識、がん検診の重要性を児童生徒の成長にに応じて指導していくことは、大切なことと考えており、規則正しい生活指導と併せて、がん教育が進むよう努めていく。

その他の質問

- ・観光について「らいじい」の定期的な活動が望ましいと考えるがどうか
- ・「らいじい」のライセンス利用料を無料にして、関連商品と市場の拡大を選挙の入場券の裏に期日前投票の宣誓書を印刷しては福祉について
- ・風疹予防対策として、ワクチン接種の公費助成を
- ・吉峰温泉への無料送迎バス増便による利用状況は
- ・吉峰温泉の助成を75歳以上の高齢者と同様に生活保護者や低所得者にも小学校5、6年生に糖尿病検査を実施しては

伊東幸一議員 一般質問



危機管理

役場の危機管理充実で 実践的な訓練を

緊急参集訓練は できるだけ早い時期に実施

議員 日頃の危機管理体制の充実、防災意識や訓練が大切である。事前通告なしの緊急参集や、深夜、早朝の実施訓練など、実践的な訓練を実施すべきでは。

町長 危機管理体制の充実が喫緊の課題である。町職員においては、日頃から研修・訓練に取り組んでいる。緊急参集訓練等は重要なこととであり、できるだけ早い時期に実施したい。

防犯

防犯カメラの設置を

当面、3箇所に設置する

議員 犯罪防止の観点からも、公共空間に防犯カメラの設置を検討すべきでは。

町長 県警察が取り組んでいる「防犯カメラの普及啓発及び設置拡充」に基づき、元気交流ステーション南側駐車場と西側駐車場の駐車場及び駐車を映す防犯カメラを設置する。また、寺田駅にも設置を予定。その他、千



寿ヶ原の立山駅駐車場及び称名滝駐車場にも、県で設置してもらえないか、県と協議する。

教育

不登校等児童の実態と対応は

18人を確認し、未然防止に努める

議員 引きこもり、保健室等登校など、町の不登校等の実態はどう

か。また、ソフト、ハード面からの町の対応は。



登校する生徒たち

教育長 町内小中学校に何らかの悩みや問題を抱えて不登校や保健室等登校となっている児童・生徒は、18人を確認している。

学校だけでは解決できない問題に対応するため、社会福祉士等の資格を持つ「スクール

ソーシャルワーカー」を配置し、保護者からの相談にも対応している。

今後、学校、家庭、地域、関係機関などと連携しながら児童生徒を注意深く見守り、不登校等の未然防止、問題解決に努める。

その他の質問

- ・町政懇談会の総括は武道センターについて
- ・中央体育センターとの一体的使用を建設には各武道団体の意見を
- ・新任課長の抱負と各課題を問う
- ・再生可能エネルギー推進は
- ・高騰する建設業の労務賃金対策は
- ・災害廃棄物の広域処理は
- ・公金管理について基本的な考えは
- ・消防組織の強化・知識・技術の向上は



「みらいぶ」の管理室



後藤智文議員 一般質問

国保税

4年間で3回、40%値上げ 国民健康保険税の値上げ撤回を

値上げは大変心苦しい

基本は加入者負担が原則

議員 4年間のうち、

3回も値上げすること
に対して胸が痛むと思
うがどうか。町長が2
期目に入った年と次の
年で約29%の値上げ、
そして今回10・2%の
値上げ、さらに後期高
齢者支援分や介護納付
金分の値上げもあり、
実際は大変な値上がり
になる。

減免されている人は
4割、そして、年金受
給者が多い状況をどう
考えるのか。

年金は減らされた上
に物価上昇、消費税増
税など、町民の苦しい
生活に思いを寄せるな
ら、値上げはできない
のではないか。

町長 町民の皆さん

に、国民健康保険税の
値上げをお願いするこ
とは大変心苦しく思っ
ている。しかし、現在
の税率のままでは25年
度の国保財政を安定的
に運営することが大変
厳しい状況になってい
る。やむを得ず税率改
定をお願いしている。
加入世帯の4割が何
らかの軽減を受けてい
る。これは加入世帯の
57%が年金世帯なので
やむを得ないと思う。
国民健康保険の会計
は独立採算制をとって
おり、基本は加入者が
負担していくのが原則
である。国保会計を安
定的に運営するために
税率の改定をお願いす
る。

約束

町民に約束した通り 固定資産税率は引き下げを

すべての小・中学校で耐震化 一方で多くの要望がある



改築中の
立山北部小学校

議員 学校教育施設充
実のために上げた固定
資産税率は、立山北部
小学校の建設で当初の

目的は達することにな
る。元に戻すべきでは
ないか。

町長 これまで教育施設の
充実のために、平成20
年度から固定資産税が
上げられ、これまで町
民は6億円もの税を納
めてきた。約束通り税
率を元に戻すべきだ。

町長 国の補正予算を
活用することができ、
想定より早く、改築事
業を進めることができ
た。立山北部小学校の
完成で、すべての小・
中学校の耐震事業が完
成し、安堵している。
しかし、学校教育施
設改修など多くの要望
があり、財政体質の検
討を総務課に指示して
いる。

その他の質問

- ・町政懇談会の在り方について
- ・懇談会の位置づけは
- ・町長自ら町の現状と将来への夢や希望

- を語るべきでは
- ・木々や葉っぱをリサイクルに
- ・福祉のまちづくりについて
- ・特別養護老人ホームの建設を
- ・身障者のタクシー利用割引の拡大を
- ・身障者総合支援法の改正で難病患者へ周知徹底を
- ・八幡湯を町の銭湯として運営を
- ・町民の負担軽減について
- ・町営住宅入居保証人の緩和を
- ・地元負担金の緩和を
- ・T P Pについて町長は容認されたが、町農業の発展は
- ・職員給与削減について
- ・削減額はどれだけか
- ・職員の削減で一人の仕事量は増えたが、どう考えるか
- ・世の中の動きと逆行しないか。職員の士気を下げるものと考えらるが

故石川孝一議員追悼の言葉



を嘱望され、さらなる活躍を願っておりましたが、突然の終焉は、町議会また町民にとつても計り知れない損失であり残念です。

石川孝一議員の逝去の報に接して、誰もが悲しみの感を抱かれたと思います。

振り返れば、平成18年、町議会議員に初当選以来、連続2期、7年余にわたり町の発展と町民の福祉向上のために、手腕を發揮されたご功績は多大であります。

私たちが議員は、町政発展のために真意奉げられました石川議員の意思を継承し、町民誰もが安心して暮らせるまちづくりを、今後も全力を尽くす所存であります。

享年64歳。これから円熟した議員としての大成長を遂げたいと願っています。

立山町議会議員一同

補欠議員選挙による委員会構成変更

(変更議員のみ)

総務教育常任委員会

岡田健治

内山昭

産業厚生常任委員会

広島秀一

議会広報特別委員会

岡田健治
内山昭

立山自然保護特別委員会

佐藤康弘

企業誘致促進調査特別委員会

特別委員会

岡田健治
内山昭
広島秀一

単位:円

平成24年度 政務活動費収支報告

平成24年度の政務活動費は右表のように使われました。

政務活動費は、議員が町に関する施策を調査研究するために必要な経費の一部として、報酬とは別に議員1人当り年額6万円が交付されています。

会派名	人数	交付額	支出額	内 訳		返還額
				調査旅費	資料購入費	
自民党議員会	9	540,000	1,625,580	1,517,580	108,000	0
公明党	1	60,000	12,000	0	12,000	48,000
日本共産党	1	60,000	61,350	0	61,350	0
社民クラブ	1	60,000	60,555	13,350	47,205	0

※交付額を超過した支出については、各会派で負担しています。

平成24年度 議長交際費支出状況

項目	件数	支出金額	備考
志・会費	66件	349,435円	各種団体主催の総会等の志・会費
慶弔費	7件	41,565円	式典などの祝金・香典等
激励・賛助金	10件	68,100円	公益性のある行事等の激励金・協力金
その他	6件	20,006円	消耗品・印刷費等
合計	89件	479,106円	



マスコットキャラクター「らいじい」

議会や議会だよりについて、みなさんのご意見・ご感想は

立山町議会内
議会だより係

TEL 462-9984(直通)
TEL 463-1121(代)
FAX 464-1118

あ と が き

暑い中いかがお過ごしでしょうか。
今期の中で三人の優秀な議員を亡くし、6月に補欠選挙が行われ、新たに3人議員が誕生し、定数どおり14名となりました。広報委員会も一層活発になり、皆様へより正確な情報の提供と、町民の立場で町政全般について審議していきます。

議会だよりを通じて皆様活動内容をご報告したいと思います。
(亀山記)

議会広報特別委員会

委員長 伊東幸一

副委員長 亀山 彰

委員 岡田健治

委員 内山昭

委員 広島秀一

委員 後藤智文

委員 町田信子

立山町議会事務局
〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440

ホームページ <http://www.town.tateyama.toyama.jp/> 【議会会議録】もご覧ください。